

TSUDOI

スタンダードプラン
週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 ChainLink	 Aave	 Ondo
中堅	 Jupiter	 Conflux	 Sahara AI
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 7/25

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#14	 ChainLink	Oracle	¥1,778,249,638,426	¥2,622.40	—	5.19%
#29	 Aave	Lending	¥641,200,159,053	¥42,184.65	—	-10.77%
#35	 Ondo	RWA	¥465,868,873,715	¥147.46	—	4.34%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**-1.74%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Chainlink：LINK (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：SEC タスクフォース参加とACE詳細公開で機関導線拡大

7/18 Chainlink Labs が SEC 「Crypto Task Force」 に正式参加し、規制当局との連携を強化。7/21 GENIUS 法署名を受け、本プロジェクト創設者のSergey Nazarov氏が「ステーブルコイン規制の決定的勝利」とコメント。7/23 Automated Compliance Engine (ACE) の機関投資家向け実用例を詳しく解説し、100兆ドルの機関資金解放を目指すと言明。規制整備が進むことで、Stablecoin／DeFi全体の透明性向上とChainlinkのサービス需要拡大が同時に見込まれる。ACE実装での需要急伸に期待が高まる。

AIによる相場分析：LINK

LINKは17.6ドル（約2,820円）近辺で小休止。18.5ドル（2,960円）を超えて20ドル台（3,200円超）へ伸びやすい一方、17.0ドル（2,720円）を割ると16.0ドル（2,560円）や14.5ドル（2,320円）まで下がる恐れがあります。買いどきは17ドル付近の反発、慎重派は16ドル台を少しずつ拾うイメージです。

Aave : AAVE (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント： Kraken連携承認も大型流出で流動性リスク顕在化

7/21 Aave の運営組織(DAO)が、海外取引所Krakenの新ブロックチェーンに貸付サービスを提供することを圧倒的多数で承認、規制に準拠した機関投資家向け市場開拓へ。一方、7/23大口投資家がAaveから1,700億円相当のイーサリアムを一斉に引き出し、一時的に資金不足となり借入金利が10%超に急騰する事態が発生。今後は、システム強化と新ステーブルコインで中長期的な預金総額増加は見込まれるが、特定投資家への依存リスクが表面化した。マイナス面もあるが、現状の法規制改革の追い風はいまだ享受できるポジションにあり、9月までに機関投資家向け詳細発表できるかどうか注視が必要。

AIによる相場分析：AAVE

現在のAAVEは284ドル（約45,400円）前後。まず280ドル（約44,800円）が踏ん張りどころで、保てば290～300ドル（約46,400～48,000円）へ小反発の余地があります。逆に280ドルを割ると260～250ドル（約41,600～40,000円）まで下がりやすく、200ドル（約32,000円）付近が長期的な最終防衛ラインです。

Ondo : ONDO (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント： 史上初RWAトークンETF申請とJPM系DVP実証完了

7/22 21Shares(スイスを拠点とする暗号資産運用会社) が ONDO 現物ETFをSECに申請（史上初のRWAトークンETF）。同日 J.P. Morgan Kinexys とクロスチェーンDVP（証券と資金の同時決済の新技術）試験取引に成功し、機関投資家向けインフラ整備が加速。7/23 Binance.US 上場で米投資家アクセス拡大。ETF承認期待とRWA実需で中期上振れ余地ある。市場は8月末SEC中間回答まで楽観を概ね織り込み、その後ETF進捗とUSDY成長率が評価軸に。

AIによる相場分析：ONDO

ONDOは1.05ドル（約154円）を超えると再び上がりやすく、0.95ドル（約140円）を割ると0.90ドル（約132円）を試しやすい。1.00ドル（約147円）付近では売り買いが拮抗し、当面はこの範囲で方向を探る落ち着いた動きが続きそうです。大きく動くには取引量の増加が欠かせません。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 7/25

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#58	 Jupiter	DEX	¥242,031,516,813	¥80.54	8.64倍 (HYPE比)	1.37%
#85	 Conflux	Payments	¥137,088,903,331	¥26.81	196.34倍 (XRP比)	82.27%
#195	 Sahara AI	AI & Big Data	¥32,408,302,772	¥15.88	18.05倍 (TAO比)	38.3%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**-1.74%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Jupiter : JUP (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Solana統合ハブ化と手数料50%恒常買い戻し開始

7/22 Jupiter貸付サービス用に150億円の新規資金割当発表で預金総額300億円に接近、週26%上昇で4日続伸し、Solanaブロックチェーンの総合ハブ化が加速。中長期的には2月末に実施された取引手数料の50%でJUPトークンを恒常的に買い戻し+30億トークンのロックアップ(3年間)でトークン供給量を削減も相まって、新規資金で預金増、買い戻しで流通量減少、価格上昇余地も。

AIによる相場分析：JUP

JUPは今0.53ドル（約85円）前後で軟調。0.52ドル（約83円）を守れば反発期待、0.55ドル（約88円）超で0.60ドル（約96円）めざす。一方0.50ドル（約80円）割れなら0.45ドル（約72円）まで下落しやすい。狙い目は0.50～0.52ドル、転換確認後は0.55ドル超え。

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

中国のブロックチェーン企業の同プロジェクトは、7/18-20上海会議でTree-Graph 3.0詳細発表、毎秒15,000取引処理+AI機能対応で8月実装予定。同時に中国オフショア人民元のデジタル通貨「axCNH」を一帯一路参加国のクロスボーダー決済に活用する構想を公表。システム改善成功しデジタル人民元の実運用開始なら国家政策による決済需要を得られる可能性あり。市場は8月本格運用開始を待つ間に期待感を段階的に調整・再評価する展開。

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

7/22 データサービスプラットフォーム公開し、AI学習用データにラベル付け作業を行う参加者にSAHARAトークン報酬（総額5,000万円超）支払い開始。主要暗号資産取引所上場済みで大手投資会社から55億円調達 of 安定した資金基盤を確保。AI×ブロックチェーン融合分野（市場規模3兆円）の先行銘柄として市場注目が集中。データ作業参加者増でトークン決済需要が立ち上がれば価値上昇も見込めるが、データ品質低下やAI規制強化で下落リスクも。直近7/26 アンロックイベントがあり、短期的な売圧には注意。

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング250位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>